晩香廬・青淵文庫

ばんこうろ　せいえんぶんこ

国指定重要文化財／旧渋沢家飛鳥山邸

渋沢栄一の鼓動を感じる

内部公開 10:00～15:45

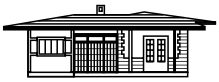
2012年4月1日より

公益財団法人 渋沢栄一記念財団
渋沢史料館
Shibusawa Memorial Museum

国指定重要文化財／旧渋沢家飛鳥山邸

晩香廬・青淵文庫 内部公開

【公開時間】10：00 ～ 15：45
※イベント開催などによりご覧いただけない場合があります。ホームページなどでご確認ください。
【休館日】
月曜日（祝日と重なる場合は開館）
祝日の代休（祝日後のもっとも近い火～金曜日の１日）
12 月 28 日～１月４日
【入館料】
渋沢史料館本館・晩香廬・青淵文庫がご覧いただけます。
一般 300 円（240円）、小中高生 100 円（80円）
※（　）内は 20 名以上の団体料金
【渋沢史料館本館 開館時間】
10：00 ～ 17：00（入館は 16：30 まで）



晩香廬（ばんこうろ）

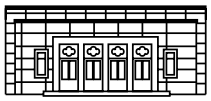
落成：1917 年（大正6）
設計監督：田辺淳吉（清水組技師長）

1917年に渋沢栄一の喜寿（77歳）を祝って清水組（現・清水建設株式会社）より贈られた洋風茶室です。材料や細部の意匠が隅々にまで配慮されているだけでなく、当時の新進気鋭の工芸家たちによって備品も合わせて制作されています。

晩香廬・談話室にて（1922 年）
晩香廬は栄一の自作の詩によって命名された。

青淵文庫・閲覧室にて（1926 年）青淵は栄一の雅号である。

青淵文庫（せいえんぶんこ）

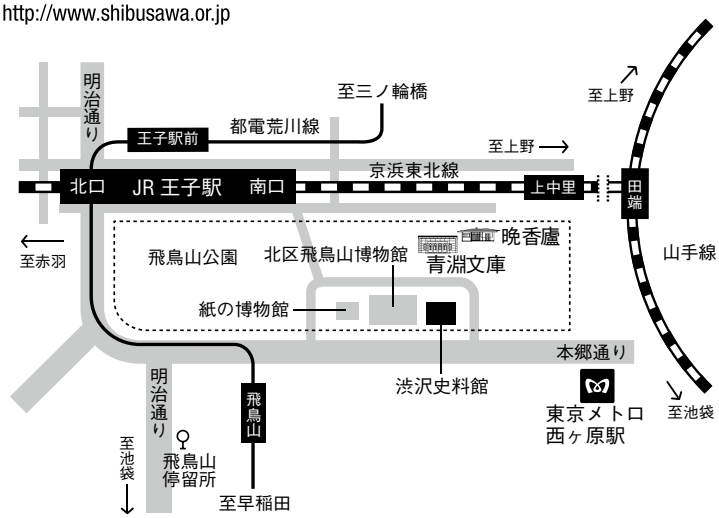


渋沢栄一の傘寿（80歳）と子爵に昇格したお祝を兼ねて、1925年に竜門社（現・公益財団法人渋沢栄一記念財団）が贈呈しました。書庫として建設されたことから全体的に堅牢で、鋼製の書棚など機能にも十二分にこだわった建築となっています。一方で、ステンドグラスや装飾タイルなどが書庫に色どりを与えています。

竣工：1925年（大正14）
設計監督：中村田辺建築事務所

【アクセス】
JR 京浜東北線王子駅南口下車徒歩約５分
東京メトロ南北線西ヶ原駅下車徒歩約７分
都電荒川線飛鳥山停留所下車徒歩約４分
都バス飛鳥山停留所下車徒歩約５分
※駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用下さい。

【お問い合わせ】
渋沢史料館
〒 114-0024 東京都北区西ヶ原 2-16-1（飛鳥山公園内）
TEL: 03-3910-0005
http://www.shibusawa.or.jp



渋沢史料館

近代日本経済社会の基盤を築いた渋沢栄一（1840-1931）の生涯を紹介する博物館として、1982 年に設立された登録博物館です。江戸時代より桜の名所として知られている飛鳥山公園内にあります。1901 年、渋沢栄一がこの地に移り、歿するまでの 30 年余り住んだ旧邸「曖依村荘（あいいそんそう）」跡に開館しました。「曖依村荘」の多くの建物は戦火で焼失していますが、「晩香廬」、「青淵文庫」の二棟が庭園とともに当時の面影を残しています。